

## 日韓交換留学プログラム ソウル大学小児病院での研修

ソウル

2019.11.18-11.29

阿久津 宣行 *Nobuyuki Akutsu*  
兵庫県立こども病院脳神経外科

2019年度のJSPN-KSPN交換留学プログラムで、2週間ソウル大学小児病院で研修させて頂きましたので、ご報告したいと思います。ソウル大学小児病院はヨンセイ大学のセブランス病院、サムスン電子のサムスン病院、自動車メーカーのヒュンダイのアサン病院とともに、韓国小児脳神経外科の4大病院の一つとされているようです。症例がこの4大病院に集約されているため、症例数が非常に多いのが特徴です。ソウル大学小児病院の最寄り駅は恵花（ヘファ）駅で、地下鉄でソウル駅から20分くらいです。この辺りは以前ソウル大学があったことから大学路（テハンノ）と呼ばれており、周囲には100以上の劇場があり、演劇の街とも呼ばれています。近くには世界遺産の昌徳宮（チャンドクン）もあります。

私が訪れたときの小児脳神経外科スタッフは、最年長のKyu-Chang Wang先生、ChairmanのSeung-Ki Kim先生、Ji Hoon Phi先生、Ji Yeoun Lee先生の4人で、他にフェローのKim先生とYang先生、レジデントが3人、インターンが1人いました。脳神経外科全体のカンファレンスではなく、個々にWang先生に相談されるそうです。翌日の手術予定などの連絡事項は、ビジネスチャットで毎日定時に配信されていました。レジデントは日本と同じ勤務時間制限があり、18時には業務終了となります。その影響もあってか、フェローの先生たちは朝7時頃に出勤し、帰宅は23時頃と非常に多忙です。

私は主に手術室で手術を見学しました。手術はフェローとPA（physician assistant）もしくはレジデントの2

人で開始して、執刀医は後から入ってくるスタイルでした。手術は8時入室で、平均1日2～3件が毎日、準備段階から流れるように進みます。特にPAのRyu君の働きは素晴らしく、体位取りからナビゲーションのセッティングなど、手術助手とMEと看護師の役割を全てこなす勢いで、さらにはレジデントの指導までしていました。麻酔の導入も早く、手術室に入室する前にすでに静脈路が確保され、鎮静された状態で入室していました。看護師も固定メンバーで、非常に効率よく手術が進行していました。モニタリングの技師も専属で、セッティングから手術終了まで付きっきりでした。手術手技や適応に関しては、細かい部分の違いはありますが、概ね一緒に安心しました。閉創は特に丁寧で、止血剤やフィブリングルーをふんだんに使用されていました。2週間の滞在中、24件の手術がありました。もやもや病の手術が特に多く、間接血行再建が週2～3件ありました。研究のため、多くの症例で手術中に血液、尿、髄液を採取していました。入院や手術に関する年齢制限は、2年前から完全になくなったようで、成人の手術もありました。全体的な印象としては、とにかく無駄が少なく、合併症に注意していると感じました。

研修中は病院から徒歩1分のところにある、ソウル大学の寄宿舎にお世話になりました。1泊30000ウォンと格安で、部屋にはテレビはありませんが、ベッドとシャワーとトイレ付きでした。食事は4800ウォンで、共同の洗濯機や乾燥機、アイロンもありました。病院の近くには日本でもおなじみのダイソー（値段は1000～5000ウォン）やセブンイレブンなどもあり、生活必需品の調達には困りませんでした。スターバックス、ダンキンドーナツ、サブウェイなどもあり、特にマクドナルドとケンタッキーフライドチキンはセルフオーダー端末



Fig. 1 ソウル大学小児病院



Fig. 2 ソウル大学寄宿舎



Fig. 3 神経センター忘年会

で、注文も英語メニューにしてタッチパネルで簡単にできました。週末は自由行動でしたので、ミュージカルの「NANTA」を観に行きました。明洞や東大門は多くの日本人観光客で溢れかえっており、日本のガイドブックに乗っているような食事処は、日本人の行列ができていますので要注意です。

研修終了の2日前には、奈良県立医科大学の朴先生が訪ねて来てくださり、江南で芸能人御用達の高級海鮮鍋をご馳走になりました。滞在中には歓迎会の他にも、ランチやディナー、忘年会にも誘って頂き、随分と気を使っ



Fig. 4 送別会

て頂きました。ソウル大学小児病院の先生方は、これからもKSPNとJSPNの良好な関係を続けたいと強調されていました。私もその一助となるよう努めます。2週間という短い期間でしたが、貴重な経験をすることができました。このような機会を頂き、奈良県立医科大学の朴先生をはじめとするJSPNの先生方、ソウル大学小児病院の先生方をはじめとするKSPNの先生方、兵庫県立こども病院のスタッフ、家族に感謝を申し上げます。

(2019年12月23日)